

相馬山山行報告

【山行日】2019年11月3(日) 曇り時々晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 2,200円

【メンバー】CL:鈴木、 SL大西、安西、齊藤、
島田、清水、関、鶴見、福島、藤原、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P6:00 = 榛名湖畔
P7:35/7:55 ~ 氷室山 8:25 ~ 天目山 8:55/9:05 ~

磨墨峠 10:30/10:40 ~ 相馬山 11:25/11:35 ~ 磨墨峠
12:05/12:45 ~ 榛名湖畔 P13:20/13:40 =

農産物直売所 14:20/14:35 = 卵太郎 14:45/15:00 =
岩舟支所 P16:25



今週は四国の剣山と石鎚山に登る予定だったが、台風19号の影響で中止を余儀なくされた。紅葉が見ごろの山を探し、榛名山の外輪山「相馬山」に登る計画を立てた。岩舟支所Pを6時に出発し、榛名湖畔駐車場に予定通り到着する。駐車場には綺麗なトイレが完備され、登山口にも一番近い。準備を整えトイレを済ませたら出発する。



準備を整えトイレを済ませたら出発する。駐車場から湖岸の道路を左に進み、直ぐに天神峠に続く道路へ左折し、少し登ると遊歩道入口の標識がある。ここから山道に入り、急坂を登って行くと天神峠からの道と合流し、標識に従ってヤセオネ峠方面へと進む。ややきつい登りが続き、登り切った最初のピークが氷室山山頂で、小休止し衣服調整をする。

氷室山からいったん急降下し、急斜面を登り返すと天目山山頂に出る。休憩を取り大きなミカンをいただき、記念写真を撮ったら磨墨峠へ向かう。

天目山からは急な木段を下り、緩やかなアップダウンを繰り返す。尾根道を歩いて行く。尾根の両側にはカエデの美しい紅葉が見られ、「ウワ～綺麗」と歓声が上がる。左手には榛名湖と榛名富士の端正な姿が見え隠れし、紅葉と展望を楽しみながら軽快に歩いて行く。やがて緩やかな尾根道になり、七曲峠に到着し車道を横切る。車道の反対側から登山道に入り、広く歩き易い尾根道が続く。三ツ峰山への分岐を右に分け、緩やかに下るとつつじ峠に出る。道は大きく左に折れ少し下ると松之沢峠下に出る。ここでも車道を横断し、反対側の平坦な山道を進む。すぐに右に登るようになり、登り切った尾根から榛名湖や榛名富士の眺めが広がる。正面に相馬山を望みながら進み、磨墨岩の左下を通過し、わずかに登り返すと東屋が建つ磨墨峠に着く。



東屋で休憩を取り、ミカンや菓子をいただきエネルギーを補給する。ここから緩やかに登ると赤い鳥居が立つヤセオネ分岐に出て、ここからが本日の核心部相馬山への登りが始まる。鳥居をくぐる



と急な岩場の登りになり、直ぐにクサリ場や長く急な鉄ハシゴが現れ、その後も頂上直下まで気の抜けない急登が続く。道が緩やかになりヤセ尾根を進み、小さな鳥居をくぐれば社や石碑等が立つ相馬山山頂に着く。山頂からは雄大な展望が広がり、関東平野の先に富士山や八ヶ岳連峰、左手には日光連山が見える。

展望を楽しみながら柿をいただき、記念写真を撮ったら下山する。下山は往路を戻り、登って来たクサリ場や鉄ハシゴは慎重に降りて行く。

ヤセオネ分岐まで下れば安心し、緩やかに下れば磨墨峠の東屋に着く。ここでランチタイムとし、キノコたっぷりのうどんを作る。温かいうどんにナスの味噌炒め、春菊のお浸し等を美味しくいただく。今日は風も無く穏やかな日和に恵まれ、のんびりとランチを楽しむことが出来た。お腹がいっぱいになったら下山する。磨墨岩の分岐まで戻り、分岐を右に沼ノ原に向かって下って行く。沼ノ原から車道に出ると運動場に出て、トイレを済ませて湖岸の道路を歩いて駐車場に戻る。足が痛い人は運動場のベンチで休み、お迎えの車で駐車場に戻った。今日は帰りに榛名神社に寄る計画にし、天神峠への道から榛名神社に向かったが、神社の1Km手前から車が渋滞していた。榛名神社参拝の車が多く、駐車場の空き待ちで渋滞していた。渋滞通過に20分掛かり、時間が無いので神社見学を諦め、次の目的地「卵太郎」へ向かう。野菜も買いたいという声があり、野菜直売所に寄ってお買い物。



野菜や柿などが安く、柿が6個で150円はとてもお買い得だった。「卵太郎」は卵屋さんがプリンやシュークリーム、カステラ等を販売する人気店。もちろん新鮮な卵も美味しくゲットする。若い人達はソフトクリームを買ってご満悦。ここから高崎ICに出て高速に乗り、北関東道を走り予定よりも早く岩舟支所に帰着した。